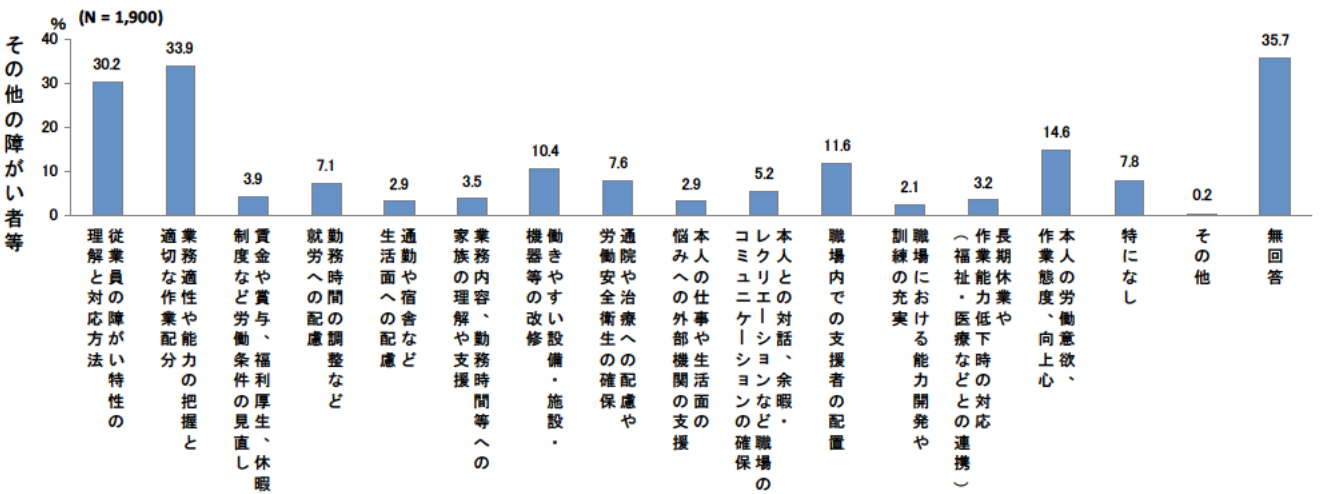
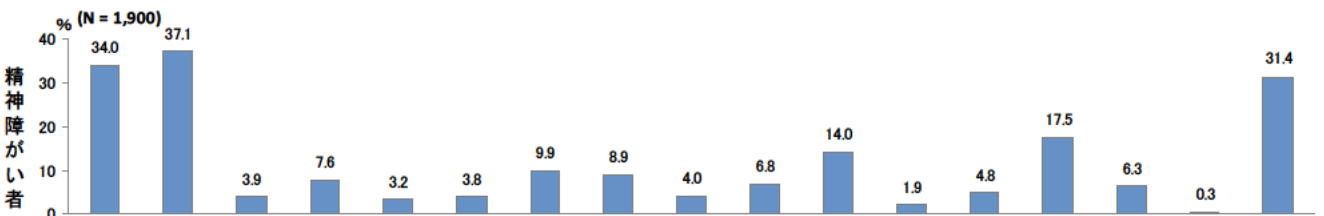
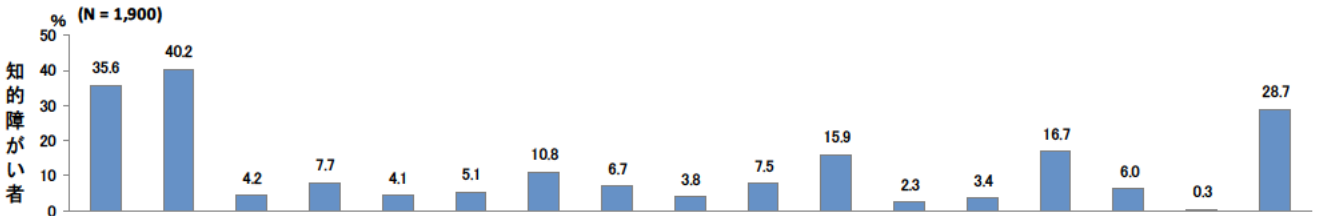
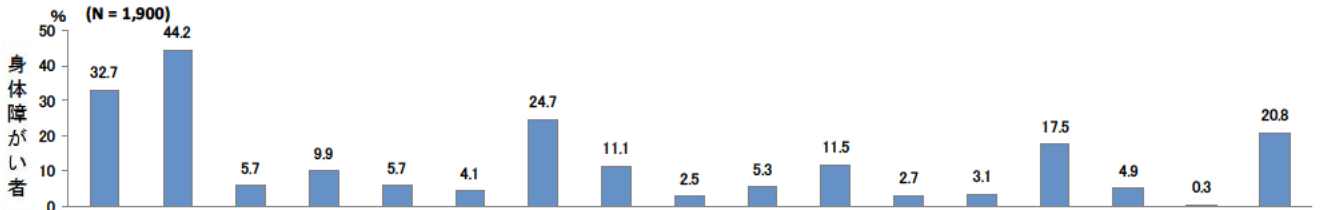


(10) 障がい者の職場定着における課題

問 13 障がい者の職場定着の課題となると考えられる事項についてお聞きします。あてはまるものを障がい等の種類別に最大3つまで○を付けてください。

全体として、障がいの種類別にかかわらず「業務適性や能力の把握と適切な作業配分」が最も高く、次いで「従業員の障がい特性の理解と対応方法」が高くなっている。

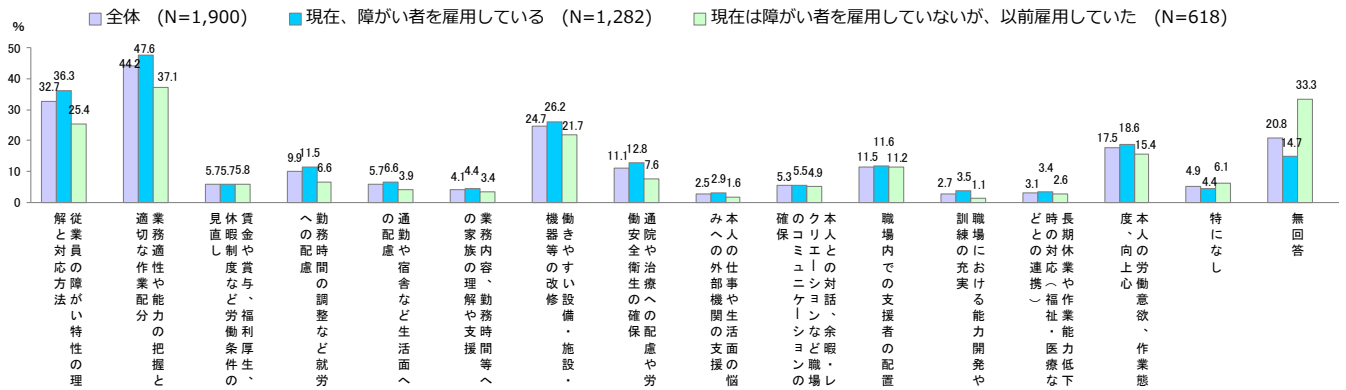
身体障がい者では、「働きやすい設備・施設・機器等の改修」が、知的障がい者、精神障がい者、その他の障がい者等では、「本人の労働意欲、作業態度、向上心」が、「従業員の障がい特性の理解と対応方法」に次いで高くなっている。



①身体障がい者

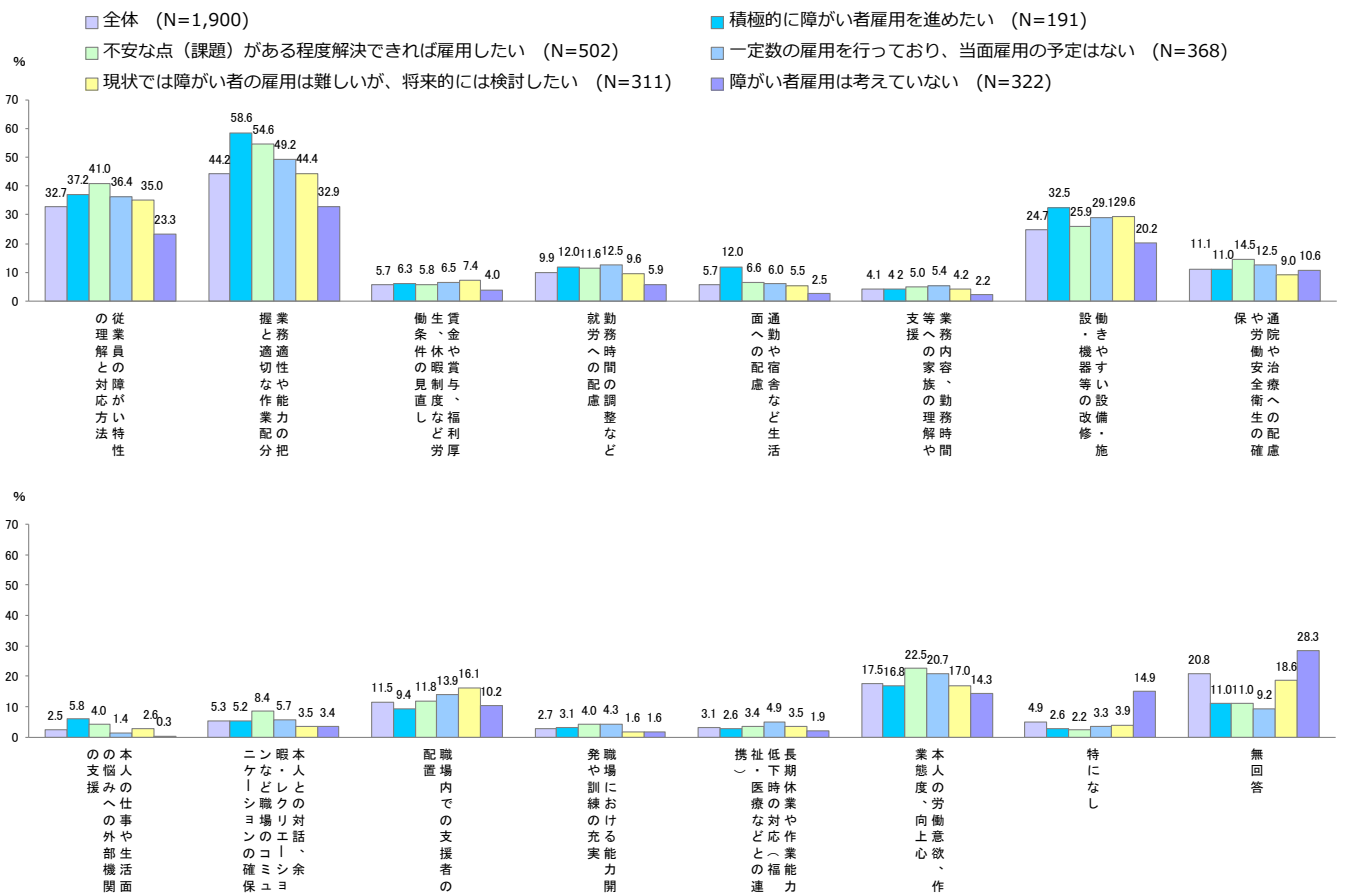
<障がい者雇用状況別>

全ての区分で「業務適性や能力の把握と適切な作業配分」が最も高く、次いで「従業員の障がい特性の理解と対応方法」、「働きやすい設備・施設・機器等の改修」が高くなっている。



<今後の障がい者雇用意向別>

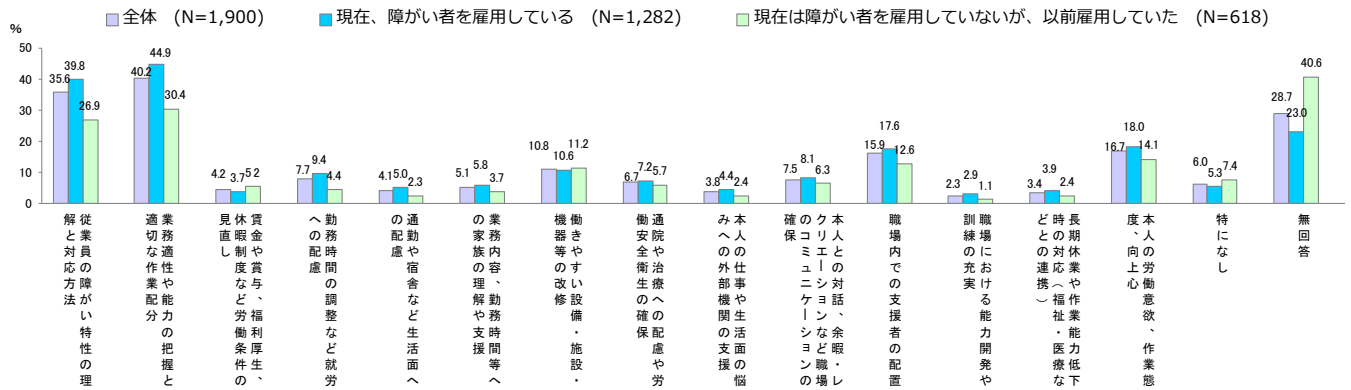
全ての区分で「業務適性や能力の把握と適切な作業配分」が最も高く、特に「積極的に障がい者雇用を進めたい」が5割以上となっている。次いで「従業員の障がい特性の理解と対応方法」が高くなっている。



②知的障がい者

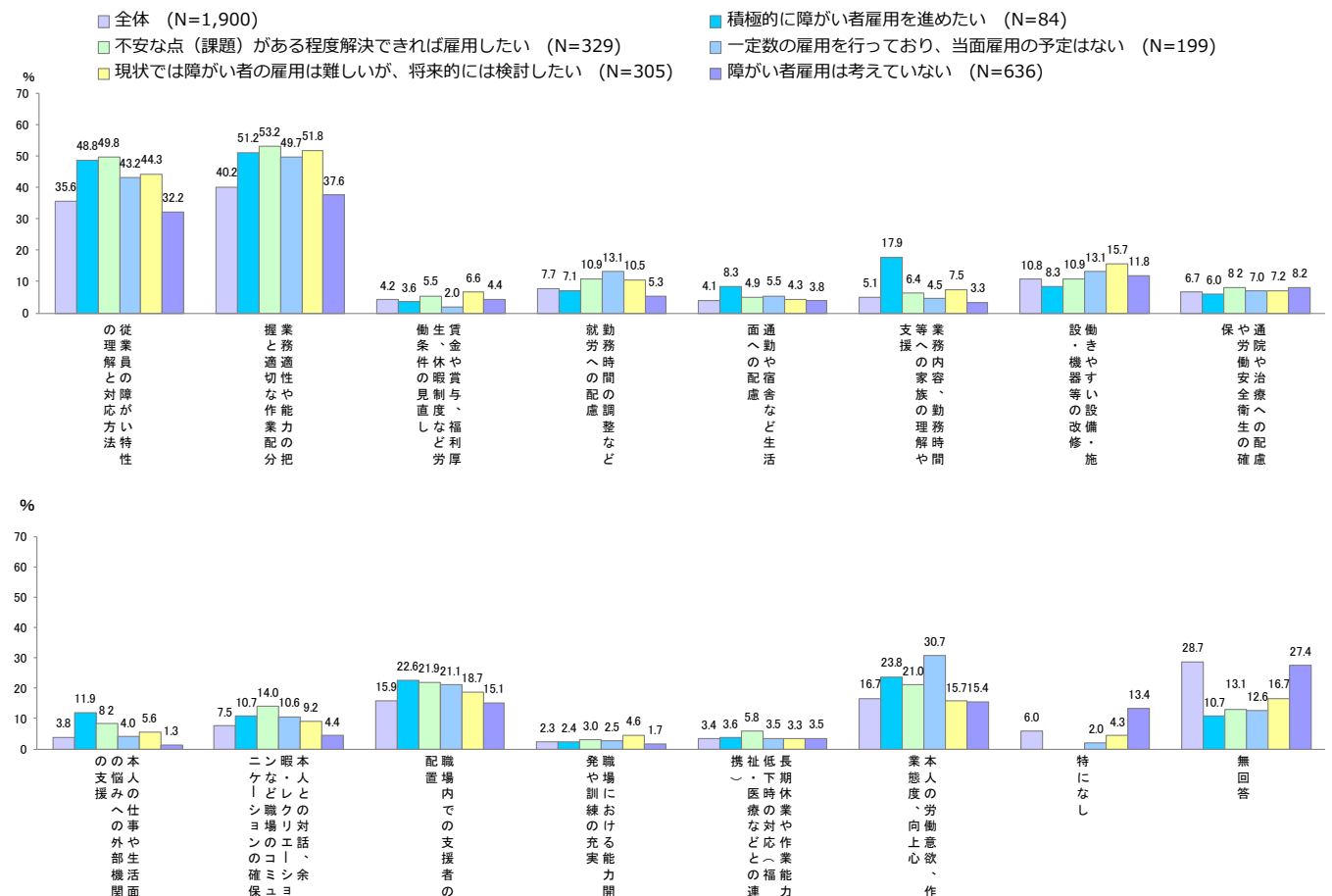
<障がい者雇用状況別>

全ての区分で「業務適正や能力の把握と適切な作業配分」が最も高く、次いで「従業員の障がい特性の理解と対応方法」となっている。



<今後の障がい者雇用意向別>

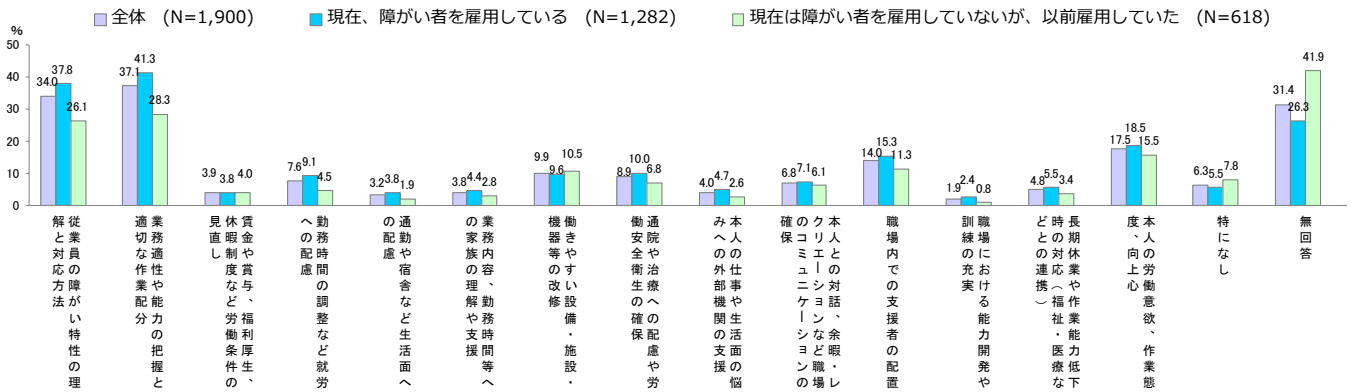
全ての区分で「業務適正や能力の把握と適切な作業配分」が最も高く、次いで「従業員の障がい特性の理解と対応方法」となっている。また、<一定数の雇用を行っており、当面雇用の予定はない>では「本人の労働意欲、作業態度、向上心」が約3割と他の区分に比べて高くなっている。



③精神障がい者

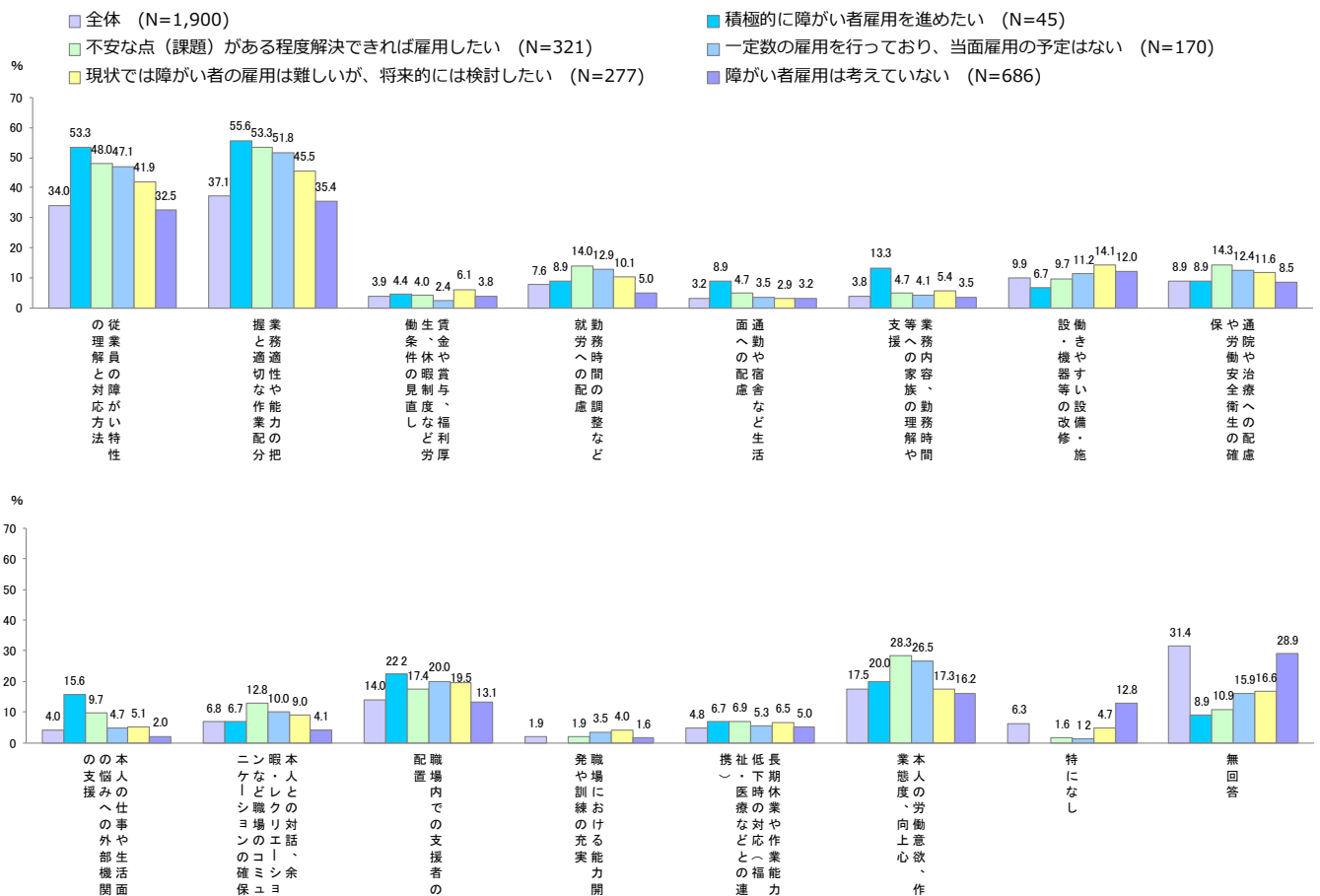
<障がい者雇用状況別>

全ての区分で「業務適正や能力の把握と適切な作業配分」が最も高く、次いで「従業員の障がい特性の理解と対応方法」となっている。



<今後の障がい者雇用意向別>

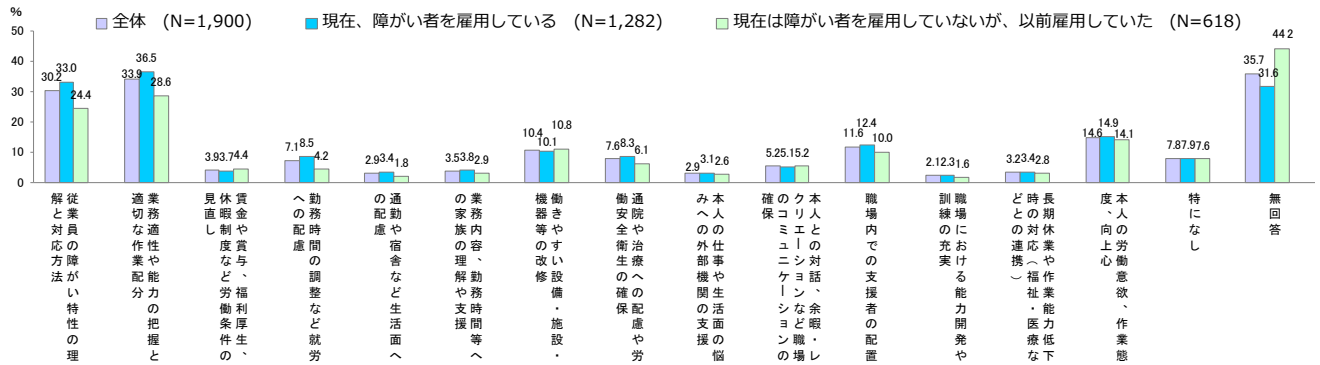
全ての区分で「業務適性や能力の把握と適切な作業配分」が最も高く、次いで「従業員の障がい特性の理解と対応方法」となっている。また、<不安な点（課題）がある程度解決できれば雇用したい>および<一定数の雇用を行っており、当面雇用の予定はない>では「本人の労働意欲、作業態度、向上心」が3割弱と他の区分に比べて高かった。



④その他の障がい者等

<障がい者雇用状況別>

全ての区分で「業務適性や能力の把握と適切な作業配分」が最も高く、次いで「従業員の障がい特性の理解と対応方法」となっている。



<今後の障がい者雇用意向別>

<一定数の雇用を行っており、当面雇用の予定はない>以外の区分では「業務適性や能力の把握と適切な作業配分」が最も高く、<一定数の雇用を行っており、当面雇用の予定はない>では「従業員の障がい特性の理解と対応方法」、「業務適性や能力の把握と適切な作業配分」がともに37%台と高くなっている。

